

# 1日だけの ヒューマン ドキュメンタリー 映画祭2023

～伊勢真一監督 映画生活50周年記念上映～

2023年 9月18日(月・祝)

【会場】大阪市中央公会堂 地下大会議室  
大阪市北区中之島1丁目1番27号

Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋」駅 1番出口 から徒歩約5分  
Osaka Metro 堺筋線「北浜」駅 26番出口 から徒歩約10分  
京阪電車 本線「淀屋橋」駅 1番出口から徒歩約5分  
京阪電車 中之島線「なにわ橋」駅 1番出口から徒歩約1分



## 上映スケジュール

- 11:00 開場
- 11:30 「奈緒ちゃん」(98分)
- 13:30 「大丈夫。  
～小児科医・細谷亮太のコトバ～」(85分)
- 15:10 「妻の病～レビー小体型認知症～」(87分)  
日本語字幕  
イヤホン音声ガイド(UDCast)あり
- 16:40 伊勢監督トーク
- 17:20 「Pascals  
～しあわせのようなもの～」(97分)

※各作品上映後に監督のあいさつがあります

## チケット

- 「奈緒ちゃん」「大丈夫。」「妻の病」  
「Pascals」(新作)
- ・それぞれ 1上映につき 一般 1,500円  
シニア・障がい者・学生 1,000円
- ・1日当日券 4,000円
- ・1日前売券 3,000円
- ※ヒューマンドキュメンタリー映画祭〈安倍野〉  
ホームページ新着情報「映画祭2023」  
「前売りチケット予約」ページをプリントして  
受付へお持ちください。

※いずれも中学生以下は無料



# 「共に生きる」

誰もが語る言い古された言葉に聞こえるかも知れませんが、私たちの社会の永遠のテーマであるように思います。笑い、泣き、怒り、語り、黙り…参加した一人ひとりが主人公の映画祭。お互いの違いを認め合いながら“共に生きる”その出会いの場…でありたいと、15年間続いた「ヒューマンドキュメンタリー映画祭《阿倍野》」。その総合プロデューサーであり、日本を代表するヒューマンドキュメンタリー映画監督である伊勢真一監督映画生活50周年記念上映として、「1日だけのヒューマンドキュメンタリー映画祭2023」を開催します。



## 1995年 「奈緒ちゃん」

監督 伊勢真一

てんかんと知的障がいをもつ少女・奈緒ちゃんの、8歳から成人式までの12年間を追ったヒューマンドキュメンタリー。監督の姪っ子にあたる奈緒ちゃんと、その家族の日常を、ただ静かに見つめ続け、映画は“しあわせ”について問いかけます。(98分)

毎日映画コンクール  
記録映画賞グランプリ



## 2011年 「大丈夫。〜小児科医・細谷亮太のコトバ〜」

監督 伊勢真一

「大丈夫。」は小児科医・細谷亮太さんの口グセです。小児がん治療の最前線で子どもたちの「いのち」と向き合い続けてきた医師の世界を、自作の俳句で綴るユニークなドキュメンタリー。

「風のかたち」の姉妹作。  
(85分)

2011年キネマ旬報  
文化映画ベスト・テン第1位



## 2014年 「妻の病」

〜レビー小体型認知症〜  
監督 伊勢真一

愛する人が認知症になったとき、あるいは自分が認知症になったとき、一体何が大切なのか。四国・南国市の豊かな自然に生まれ、支え合うように生きてきた、一人の医師と「レビー小体型認知症」の妻との10年間に及ぶ“いのち”を巡る物語。(87分)

日本語字幕  
イヤホン音声ガイド(UDCast)あり



## 2023年 「Pascals」

〜しあわせのようなもの〜  
監督 伊勢真一

2021年の正月、ひょんなことからバスカルズの「さるハゲロックフェスティバル」用のショートムービーを頼まれて、ほとんど初めてのようにバスカルズのみんなと出逢った。でも、ずいぶん昔からの友達のような気がしたし、音楽も、なんだかとても懐かしかった。(97分)



【主催】ヒューマンDFプロジェクト、いせフィルム、NPOココベリ121

【お問合せ】ヒューマンDFプロジェクト <http://hdff.jp/> twitter : hdff\_abeno facebook : hdff.jp  
メールでお問い合わせください E-mail : info@hdff.jp  
〒545-0043 大阪市阿倍野区松虫通3-3-8 (担当：浦方)